

Plant Environmental Signaling

文部科学省・科学研究費補助金・新学術領域研究（研究領域提案型）

平成 27 年度～平成 31 年度

News Letter Vol.5 December 2017

目次

◆活動報告-----p.3

平成 29 年 9 月 8 日

日本植物学会 第 81 回大会・共催シンポジウム
(東京理科大学・野田キャンパス)

平成 29 年 10 月 17 日-19 日

第 3 回若手の会 (ホテルマホロバ・マインズ三浦)

◆アウトリーチ活動-----p.7

◆今後のイベント-----p.9

◆編集後記-----p.10

活動報告

平成 29 年 9 月 8 日

日本植物学会 第 81 回大会・共催シンポジウム (東京理科大学・野田キャンパス)

日本植物学会第 81 回大会において、本領域の共催シンポジウムを開催しました。

■日時:平成 29 年 9 月 8 日(金)14:00～17:30

■場所:東京理科大学・野田キャンパス

■シンポジウム名:

Toward unveiling plant adaptation mechanisms to environmental stresses

■オーガナイザー:

柴田 美智太郎 (理化学研究所・環境資源科学研究センター)、
最上 惇郎 (東京大学大学院・農学生命科学研究科)

■講演者:

Michitaro Shibata (RIKEN)
Kaisa Kajala (Utrecht University, the Netherlands)
Junro Mogami (University of Tokyo)
Hilde Nelissen (VIB, Ghent University, Belgium)
Dinny R. Jose (Carnegie Institution for Science, USA)

植物の環境適応機構をテーマに、発生や成長の制御、また遺伝子発現制御ネットワークなどの様々な角度から研究発表を行い、最新の知見に基づいた議論を行った。

平成 29 年 10 月 17 日-19 日

環境記憶統合・第3回若手の会(ホテルマホロバ・マインズ三浦)

2017年10月17日～19日の3日間に渡って、神奈川県三浦市のホテルマホロバ・マインズ三浦において本領域研究の第3回若手の会を開催しました。本会議では8つの計画研究班と19の公募研究班から総勢74名が参加し、若手研究者による発表に加え、本領域に設置されている研究支援班の紹介を行いました。更に、夜のフリーディスカッションや研究交流会などの時間も設けられ、互いに交流を深めることで共同研究の輪が広がりました。

若手研究者による発表では、口頭発表（19件）、ポスター発表（42件）の発表が行われました。27の研究班から参加した若手研究者は、本領域のそれぞれの研究班の研究を互いに新鮮な気持ちで聞き、活発な討論が行われました。また、1日目夕方と2日目夕方に特別企画として『海外でのPI経験者によるご講演』を行いました。特別企画1は『野外変動環境での植物の環境認識：日米欧での異分野間共同研究から』と題して、清水健太郎先生に講演していただきました。特別企画2は『私の研究人生』と題して、西條雄介先生に講演していただきました。両講演共に、若手研究者には大いに参考になり刺激になる内容でした。

今回はポスター発表のメンバーにもショートトークとして研究内容を紹介してもらったため、お互いの研究内容の理解が深まり、ディスカッションも盛り上がりました。若手の会の発表優秀賞の方々には以下の方々です。代表の木下先生から表彰され、副賞の記念品が贈呈されました。

神谷 麻友（名古屋大学）
相馬 史幸（東京大学）
西田 帆那（筑波大学）
増田 健吾（名古屋大学）
松村 護（名古屋大学）

今回の若手の会を通して若手研究者どうしの交流が広がり、新たな共同研究や連携研究が生まれることを願っています。また、この会がひとりひとりの若手研究者に刺激を与え、多くの研究の発展につながっていくことを祈っています。

第3回若手の会幹事（坂本卓也、坂本勇貴、松永幸大）



オープニング



口頭発表の様子



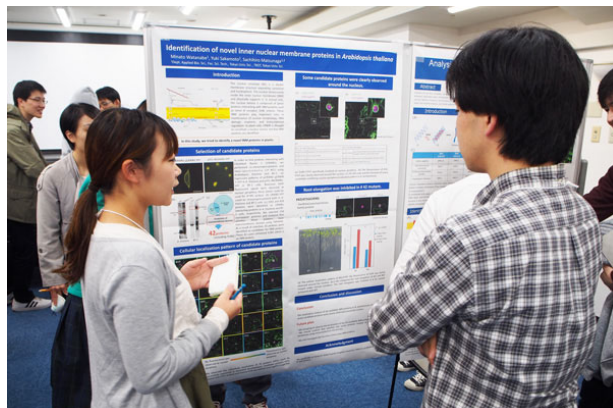
口頭発表の様子



口頭発表の様子



口頭発表の様子



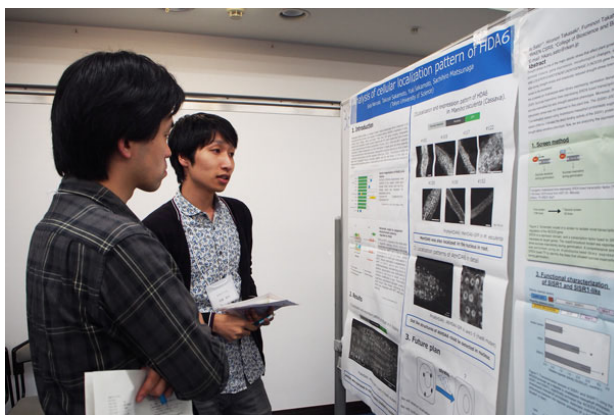
ポスター発表の様子



特別企画の様子



ポスター発表の様子



ポスター発表の様子

アウトリーチ活動

平成 29 年度（9 月 2 日以降）

日付	活動名	場所	活動内容	対象者	活動メンバー
9/16	横浜サイエンスフロンティア高校文化祭・学術企画	横浜サイエンスフロンティア高校	モデル植物に関わる展示とモデル植物を使ったキーホルダー作製を行った	中・高校生	木羽 隆敏
9/23	理化学研究所横浜キャンパス・一般公開	理化学研究所横浜キャンパス	モデル植物に関わる展示とモデル植物を使ったキーホルダー作製を行った	一般	木羽 隆敏、 榊原 均
9/23	2017 年度理化学研究所横浜キャンパス一般公開	理化学研究所横浜キャンパス	研究内容をポスターを用いて紹介するとともに、体験型イベント「植物の種まき体験」を実施	一般	関 原明
9/30	出張講義	奈良県立橿原高校	橿原高校の学生を対象とした植物免疫に関する講義	高校生	川崎 努
10/8	小学生対象研究室見学会	東京大学大学院農学生命科学研究科	小学生を対象とした研究室見学	小学生	篠崎 和子
10/13	高校生対象研究室見学会	東京大学大学院農学生命科学研究科	静岡県立榛原高等学校の学生を対象とした研究室見学	高校生	篠崎 和子
10/15	小学生対象科学体験イベント	京都市立上賀茂小学校	小学生向けの科学体験イベント「かみがもラボ」を企画運営した	小学生	木村 成介
10/18	高校生対象研究室見学会	理化学研究所横浜キャンパス	富山県立滑川高校の 2 年生を対象とした研究室見学	高校生	関 原明、 佐古 香織
10/21	第 13 回名古屋大学ホームカミングデーにおける研究室訪問および施設公開	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所	植物の成長における光の利用と環境シグナルとしての青色光応答について、最新の研究成果の紹介と実演観察を行った	一般	木下 俊則
10/26	高校生対象研究室見学会	東京大学大学院農学生命科学研究科	長野県立飯山高等学校の学生を対象とした研究室見学	高校生	篠崎 和子

日付	活動名	場所	活動内容	対象者	活動メンバー
11/12	親子科学教室花のかたちづくり～いろいろな花を観察して、花ができる仕組みを考えてみよう！	高山サイエンスプラザ	花ができる仕組みを学ぶ体験学習	小学生	山口 暢俊
11/23	SSH 活動	奈良先端科学技術大学院大学	西大和学園高等学校の生徒を対象とした SSH 活動の成果発表会	高校生	西條 雄介

今後のイベント

平成 30 年 3 月 14 日-15 日

第 5 回領域会議（東京大学・本郷キャンパス）

平成 30 年 5 月 28 日-29 日

平成 30 年 5 月 28 日-29 日第 7 回領域会議（ウェルシーズン浜名湖）

平成 30 年 9 月 27 日-29 日

第 4 回若手の会（中京大学青木湖セミナーハウス レイクビュー白馬）

編集後記

新学術領域「植物の成長可塑性を支える環境認識と記憶の自律分散型統御システム」が発足して約 2 年が経過し中間地点を折り返しました。皆様のおかげで中間評価会も無事に終了することができました。

活発な共同研究やアウトリーチ活動が展開されており、領域の研究活動は盛り上がりを見せております。引き続き、本領域ニュースレター「**Plant Environmental Signaling**」では、本領域の広報活動の中核となるべく、研究メンバーの活動をお伝えして参ります。領域ホームページ（検索キーワード：環境記憶）も併せてご覧ください。今後どうぞよろしくお願い致します。

平成 29 年 12 月 22 日 **Plant Environmental Signaling** 編集部

Plant Environmental Signaling

文部科学省 科学研究費補助金 新学術領域研究

「植物の成長可逆性を支える環境認識と記憶の自律分散型統御システム」

編集人：松永幸大

発行人：木下俊則

発行日：平成 29 年 12 月 22 日

Copyright 2017 無断転載禁止

